

危険です！

消火器の破裂事故にご注意ください！

消火器の破裂事故が発生しています。原因は老朽し錆びた消火器を触っていたものです。消火器は、初期消火に非常に有効なものですが、取り扱いを誤ると重大な事故につながります。事故を起こさないために、そして、いざという時に使用できるように、消火器の適正な保管と日常的な点検を行って下さい。

どうして破裂するの？

消火器の中には圧縮された二酸化炭素ボンベが内蔵されています。消火器のレバーを握るとボンベが破られ、本体内部に二酸化炭素が充満しその圧力で薬剤が放出されます。消火器本体やキャップにサビや変形があるとその部分が圧力に耐えられなくなり破裂が起こります。

その消火器は大丈夫？

一般家庭における消火器の設置や点検の義務はありませんが、消火器の一般的な耐用年数は5年～8年となっています。8年以内であっても、サビやキズ等の異常がある場合は、使用を避けて下さい。古くなった消火器(特にサビがあるもの)は無理に使用せず、取扱事業者に点検や廃棄を依頼しましょう。容器内の消火粉末は、長い間放置したり、湿気の多い場所等に設置していると固まる可能性があり、いざ使用する時に消火粉末が出てこないおそれがあります。定期的に消火器を傾けて、容器内の粉末がサラサラ動いているか耳を近づけて聞いてみて下さい。(消火粉末が固まる予防にもなります。)誤って安全ピンを抜かないように注意して下さい。

チェック表
○安全ピンはついてますか？
○キャップはゆるんでいませんか？
○容器にサビや変形などはありませんか？
○ホースに詰まりやひび割れはありませんか？
○圧力ゲージがついているものは、圧力を示す針が規定値内に(緑色の範囲)にありますか？



設置場所も大事です。
水がかからない、湿気のないような場所で、使いやすい場所に置くようにして下さい。



○消火器の点検や廃棄処分に関するお問い合わせは
・社団法人 日本消火器工業会 06-6941-2033
・鳥栖三養基地区消防本部 予防課 0942-83-7996

または購入されたお店、製造メーカーにお問い合わせ下さい。